

# 紙ひこうきの豊富なオムライスメニューを一部ご紹介!



ピフテキがのっぺいほす!

## 店主・中沢さんのオムライス愛!



**1** たくさんの期間限定メニューを開発!  
秋・冬の期間メニュー

「で〜こんの和風ドリア」「まるごとで〜こんオムライス」「で〜こんクリームオムライス」の3種がおすすめ!  
春夏メニューもお楽しみに。

**2** 変わり種メニューの開発!

これまで開発した60種のオムライスの中には、たくさんの変り種メニューがあり、他店にはないオリジナリティ溢れるメニューが楽しめる。

**3** オムライス用のスプーンへのこだわり

今まで木のスプーンを使っていたそうですが、食べやすさを求めオムライスに適したスプーンを発見したという、こだわりがある。最後の一口まで、すくいやしく食べやすい。

**4** お客様に楽しんでもらえるよう考案!  
フリーペーパー仕立てのメニュー

メニューに独自の面白いコラムを入れて、オムライスの魅力はもちろん、料理の待ち時間を飽きさせない豆知識コラムやクイズが大人気。



**5** オムライスを上手に包むコツを伝授!

ポイントは、フライパンの持ち方と、フライパンを滑らすように盛り付けるのがgood。ご飯を置いた方を下にするとキレイにお皿に落ちる。「卵を1人前2〜3個使い、小さめのフライパンの方がふわっと仕上がります」。



ポイントはココ!

取材協力  
和風洋食屋 紙ひこうき  
甲斐市長塚164-1 TEL.055-277-9880  
営業時間 11:30~14:30 (L.O.14:00)  
17:30~22:00 (L.O.21:30)  
定休日/水曜日



動画でも包み方・お店の情報など配信!  
Instagram



# オムライスに夢中

卵とフライパンを巧みに操る「紙ひこうき」の味

11月5日は「いいたまごの日」。卵は、美容や医療、研磨剤や、殻を使ったアート・肥料にも活用できる万能なもの。それでもやっぱり卵と聞けば、おいし〜いふわトロな卵料理を想像します。今号は、その卵を操り、フライパン捌きが素晴らしい和風洋食屋と銘打ったオムライス専門店「紙ひこうき」さんを突撃しました。

**オムライス専門店として生きる**

フライパンを一途に振り続け22年。甲斐市にある「和風洋食屋紙ひこうき」は、オムライス専門店として長い間親しまれています。店主の中沢幸夫(なかざわさちお)さんは、県内の飲食店に勤めたのち、この場所にお店を構えました。

「2000年に独立した当初から店の看板メニューとしてオムライスを作っています。オムライスが好きなのもあり、優しい雰囲気、食べ物だなと思ったので」。

当時、オムライス専門店はお店が閉店してしまい、うちだけとなりましたが、最近専門店がぼつぼつ出てきていますね」と、新店の情報にもアンテナを張っています。

手軽に作れるオムライスですが、家庭ではなかなか再現が難しいふわふわの卵や、オリジナルソースのおいしさはお店ならではの紙ひこうきでは、常に22種、24種のメニューが並び、懐かしいケチャップ味をはじめ、王道のデミグラスソースや、

一度食べるとハマる人続出の和風鶏そぼろ添え、お茶漬けなど、独創的なメニューもあります。季節の食材を使ったり、他店とは違うことをするなどして差別化を図り、バリエーションを増やしていく中沢さん。「奇想天外なもので、自分がおいしいと思えばメニューに加えます」と自分の味を信じて、今日もメニュー開発に余念がありません。

「2000年に独立した当初から店の看板メニューとしてオムライスを作っています。オムライスが好きなのもあり、優しい雰囲気、食べ物だなと思ったので」。

「喜んでいただけること」「楽しんでいただけること」をモットーに、紙ひこうきでは、さまざまな企画も行っています。そのひとつに、9月・10月の2ヶ月間、お客様の投票によって順位を決定する「オムワングランプリ」があります。

今回は、とろとろタイプのデミグラスソース「ダンデライオン」が2連覇になるか、はたまた女性に人気の「オムハヤシ」になるか、それとも新メニューが

## 高く飛んでいく紙ひこうき

昇り詰めるか見ものだそう。ほかにも、待っているお客様が楽しめるフリーペーパー仕立てのゲーム・占い付「メニュー表」や「十彩(といろ)のクリームソーダ(全10種)」、1皿300円の「マメ小皿」予約なしでもOKなコースなど、ずっと飽きさせないのが紙ひこうきなのです。

「オムライスは、懐かしさ、斬新さ、新しさ...すべてある上に、未開発な食べ物。洋食でもなければ和食でもない高い自由度が魅力です。『日本生まれの洋風料理』という言葉が一番しっくりきますね」と話す横顔は、まるで少年のよう。そして「このまま遊び心を持ち続けたい」とも。心も少年でいる限り、紙ひこうきの楽しさは終わりがありません。



オムワングランプリ2連覇を狙う「ダンデライオン」